

平成23年度第2回信州大学FDショートセミナー

『生徒』から『学生』への移行を考える

全学教育機構准教授 松岡 幸司

(高等教育研究センター 兼務)

maulwurf@shinshu-u.ac.jp

1. 現状：学生は不安

1) 08年度共通教育に関するアンケートから

- ・ 入学後、授業を受けるにあたり不安を感じたことがありましたか？

あった+少しあった = 87.8%

- ・ 不安の内容は？

大学での授業の受け方 = 139/516人

26.9%

1. 現状：学び方の変化

高校（予備校）までの学び方

- ・ 完備されたカリキュラム
- ・ よく準備された教科書・教材
- ・ 豊富な参考書・問題集
- ・ カラフルでノートのとりやすい板書
- ・ 自主的な発言を求められない
- ・ レポートなんかない

受動的で待っていればよかった...かな? (^_^)

1. 現状：学び方の変化

大学での学びは？

- ・ ディスカッション
- ・ 意見を求められるグループワーク
- ・ 板書の(少)ない講義
- ・ フィールドワーク
- ・ レポートの作成・提出
- ・ プレゼンテーション
- ・ 資料を自分で探して調べる...

新しいことがてんこもり...(-_-)

1. 現状：学び方の変化

これは...

初年次(高校→大学)に限ったことではない！

↓

共通教育→専門課程の移行においても生じる！

↓

☆大学(初年次/専門課程)で学ぶにあたって

⇒学生は、学び始める前に/学びながら、**学び方を学ぶ必要**がある！⇒教員は、**学び方の示し方**を身につける必要がある！

2. 『生徒』と『学生』

1) 生徒と学生

生徒：ドイツ語では **Schüler**⇒ **lernen**: 学ぶ, 学習する (=learn)= **高校まで****学生**：ドイツ語では **Student**⇒ **studieren**: 研究する, 専攻する, 大学で学ぶ= **大学生以上**

2. 『生徒』と『学生』

2) 生徒である学生

今の学生の多く：

自分たち⇒ 生徒
大学⇒ 学校

教員：

「生徒」・「学校」と言ってませんか？

⇒ 「学生」に接する態度が必要
の前に...

2. 『生徒』と『学生』

3) 『生徒』から『学生』へ

『生徒』自覚する学生を

⇒ 『学生』という意識の学生へ

⇒ 「生徒」的意識の学生に「学生」として接し
『生徒』から『学生』への移行を促す

Ⅱ. グループワーク（１）

彼らは『生徒』？それとも『学生』？

『生徒』or『学生』？

- どんな時に学生が『生徒』に見えるか？
- どんな時に学生が『学生』と思えないか？
- 学生が『学生』ではない問題点は何か？

1. グループディスカッション
2. プレゼンテーション

Ⅲ. グループワーク（２）

『生徒』から『学生』へ

『生徒』から『学生』へ

(グループワーク（１）の問題点を踏まえて)

- 学生が『生徒』である問題点の解決法は？
- 『生徒』である学生を、どうやって『学生』へと導くか？

1. グループディスカッション
2. プレゼンテーション

Ⅳ. まとめ：質疑応答

今後のFD行事

☆新任教員研修

5月14日（土）：新任教員FD研修（１）
9月26・27日（月～火）：新任教員FD研修（２）
⇒FDカンファレンスと同時開催

☆次回FDショートセミナー

6月14日（火）16:30～18:00（松本会場）
• テーマ：未定
(希望に応じて臨時/出張開催も歓迎)

☆FDカンファレンス

9月26・27日（月～火）